

平等はみんなでつくるもの

うえだ なゆ

八千代市立村上東小学校 六年 上田夏夕

まずはじめに、この作文を書くにあたって「刑務所しか居場所がない人たち」という本を読みました。この本には主に、障害をかかえる人の犯罪について書いてありました。

私は刑務所について犯人がしかたなく刑務所に入っているイメージでした。しかし実際は、貧困や差別、いじめなどから生まれた犯罪が多くあります。中でも障害を持つ方の犯罪について知っておどろきました。それは、障害と犯罪のむすびつきがあることでした。

例えば窓のあいている車のダッシュボードに三十円置いてあったので、手にとったところ、車の持ち主に見つかって「なにをしているんだー」と声をかけられても何も答えずに「ニ」ニ」していたらこわがられ、警察に通報されて「常習累犯罪窃盗罪」として三年間も刑務所に入ることになりました。

また他の例では、お弁当を万引きし、店員をふり切った時にケガをさせてしまい、警察や検察に「最初から暴力をふるって盗む計画だったんだろ」と言われると、おびえてしまい「はい、そうです。」と答えてしまい刑務所に入れられてしまったそうです。私がここで思うのは、裁判官があきらかに違和感^{いわけ}があったはずなのに「O」テストをせず罪名をつけてしまった事です。私はこの例を知って憤りを感じました。それは、なぜこんなにも冷たい社会なのか、どうしてそうなってしまったのかと思います。

まず、犯罪をおかしてしまう人は、居場所がない人がほとんどです。たいていの人が、いじめや差別を受けた経験があるそうです。なんと、刑務所は、そんな人々が集まる場所になっていたのです。ほとんどの人が、社会へもどることを怖がり、また刑務所へもどりたいと軽犯罪を繰り返しているそうです。もしかしたら、裁判官は彼らのためを思って刑務所へ入れる決断をしたのかもしれないかもしれません。

そして、法律や福祉では、まだ彼らを守りきる力もっていないことを知りました。知的障害の方の犯罪は、被害が小さいのが特徴です。社会からこ立され続けていたから起こってしまったことなのかと思います。これは、起こってしまったのではなく、起きてしまつて当然なことではないかと思えます。弱い人が安心していきたくない社会。誰がつくったと思いますか？みんな自分のことで精一杯だけど、困っている人をおいていくほど精一杯ですか？とてもじゃないけど私には分からないことばかりです。大人になったらわかるというなら、大人にはなりたくないです。

けれど、世の中には少数ではあるけれど、知的障害者や、認知症、精神障害の方が安心して社会で過ごせるように支援や活動をしている方々がいます。私が何かできること…と考えると、まずは「知る」ということだと思います。人類は大昔、助け合つて生きてきたはずなのに、なぜこうなってしまったのか。でも今は大昔と同じではいけません。それに支援はお金がかからなくてもできることがあると思います。

悲さんな事件をおおげさにメディアがとりあげて、世の中がぶつそつになった様に話しますが、近年の犯罪件数はすく減っていることをご存じでしょうか？そのかげで社会から追いやられてしまった人がいるのはご存じでしょうか？

まずは、知ることから始めましょう。